

学びのアルバム NO.5

5~6月と気候がとてもよく、園庭で遊ぶにはとても気持ちのよい日が続きました。コロナ禍でもあり、家庭で思う存分に体を動かして遊ぶことの少なくなった子どもたちにとって、幼稚園の園庭で友達と共に過ごす時間は、今まで以上に大切なものであると感じています。

そんな中、昆虫が大好きな子どもたちが、家で見つけたチョウチョウやバッタ、カタツムリなどを水槽に入れ、毎日大切そうに持ってきてくれるようになりました。それをクラスにお披露目し、また家に持ち帰る…。

そんなやりとりの中で、子どもたちは、飼育するための住処や食べ物などを自分たちで調べたり、その生態を伝え合ったりしながら、生き物への関心を高めています。

幼虫からさなぎへ、そしてチョウチョウへ

幼稚園の園庭で見つけた「ツマグロヒョウモン」の幼虫が、さなぎになりました。真っ黒で触るとチクチクと痛そうなトゲに覆われた幼虫が、飼育ケースの中に渡された割り箸の上を一生懸命に登り、動かなくなりました。

そして、形を変えて動かなくなったさなぎが、体の一部をキラキラと輝かせる様子を、子どもたちはとても不思議そうに、そしてその小さな命を愛おしみながら、毎日観察を続けました。

2週間が経った頃でしょうか？ 飼育ケースをのぞき込んだ子どもの目の前で、「ツマグロヒョウモン」は大きな羽を広げました。



昨日は、さなぎだったんだ
けど、朝きたらチョウチョウ
になってたんだよ。



年少さんに誘われ保育室へ！
年長さんもびっくりです！

これは僕の持ってきたサワガニだよ！





雨の日に、僕の家の前を歩いてたんだ！



これは、けいちゃんの家に行った『変身バツタ』
色が変わるんだって。





園外散歩で見つけた大きなカタツムリが、たくさん赤ちゃんを産んだよ。これには、先生たちもびっくり！



小さくても、ちゃんとカタツムリの形をしています。

オタマジャクシを捕まえよう！

下中幼稚園から沼代方面に少し足を延ばすと、今では貴重となった「棚田」が広がり、とても美しい風景を見ることができます。

5月にはホタルが飛び交い幻想的な世界が広がる棚田にも、6月に入る頃には、一面に水が入り、田植えが始まります。

オタマジャクシが可愛い姿を見せる頃に、地域の方のご協力をいただき、園外散歩に出掛けました。道路わきの木の実、畑に咲く草花、小さな虫…子どもたちはたくさんのに興味を示しながら、友達と楽しく歩きました。





さあ、出発です！忘れ物はないかな？



「右を見て」「左を見て」「後ろも見て」交通ルールの確認をします。

安全な場所は、ソーシャルディスタンスを保って1列で歩きます。





ここが「棚田」。



オタマジャクシ、いるかな？



う～ん、つかまらないな。





バケツじゃあ
狭すぎるよ！



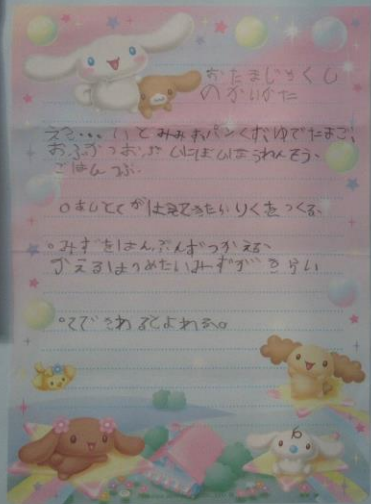
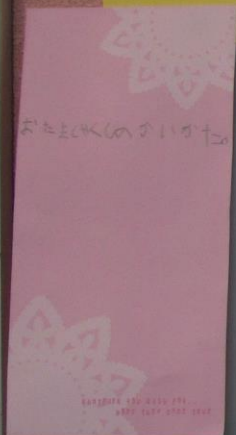
水槽に移してあげよう！年長さん、やり方教えてね。



ほら、ここに
いるよ！

6がつ22にち かようび

ぬましろのたなだてで おたまじゃくしをみつけたよ。



あかねちゃんが
おたまじゃくしの飼いかたを
しらべてくれました。

・からだかくろい
みどり

・しほがとうめい
のみどり

くちがある(ほら)

おなかがひかてる
(のどかな?)しほも

・きいろとみどり

ひきがえるかた


年長組では、オタマジャクシの飼い方を家で調べてきてくれた友達
いたことがきっかけとなり、虫メガネをもって観察会が始まりました。



時間をみながら、再挑戦！今日は捕まえられるかな。



ゆっくり、ゆっくり...ねらいを定めて...“さっと”すくう。
静かにすくうと、水が濁らないことに気がきました。

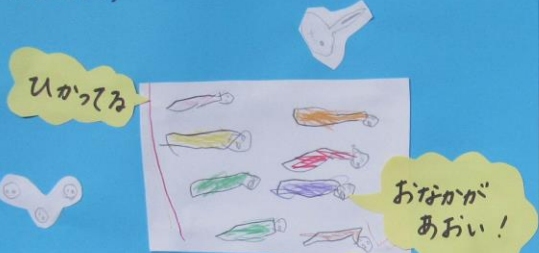
A young child wearing a pink shirt, a yellow hat with a pink brim, and a white face mask is holding a pink net. Inside the net is a small clear plastic container filled with brownish water. The child is standing on a concrete path next to a body of water with green grass. In the background, other children in similar clothing are visible, along with a blue bucket.

ほら見て！2匹
も採れたよ！

満足！満足！

6がつ23にち すいようび

むしめがねをつかって おたまじゃくしを
みてみたら...



る
しほも
?

おたまじゃくしは
なにをたべるの?

ねんしゆくさんの
おたまじゃくしのはかに
きやべつがあつたよ

えさが
ないよ

どうする?

あかねちゃんがりらべ
てきたものやもてきてくれ
たずかん おへやのずかん
をみて

きめのきやくしよほ
ごほんだからごほんを
あげればいいよ

ひとりかひとつぶず
あやう
たりるかな?

ゆらゆらしている
めにたべつづけて
いるよ

てにごほんがくついて
うまくあげられないよ

えさをたべるかみて
いたけどなかなか
たべないね
(はなれてみる)

ごしんがくついて
どうちがう

あつたべた

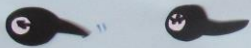
ごしんがくついて
どうちがう

6がっ 24か もくようび

ねんしょうさんといっしょにおたまじゃくし
とりにでかけました。すくったおたまじゃくし
をいれおぼくもくふうしてつくりました。

だれがたくさんとれたかな？

あかね 2ひき



しず 1ひき

ゆり 1ひき



3 ひき

れい 1ひき



さえ

3ひき



とってきたおたまじゃくし
はどうするの？

- ★「いっしょにしてあげる」
- ★「かぞくかもしれないから」
- ★「ぼらぼらだつたらかわいそうだよ」



自分たちで捕ったオタマジャクシに、足が生えました。

今まではただ捕まえることが楽しかった子どもたちも、このような活動がきっかけとなり、しっかりと小さな命にも向き合うようになってきました。

そして、どんな所に住んでいるのか、どんなものを食べるのか、どうやって飼ったらいいのかなどたくさんのことを、友達と一緒に学んでいます。

これからも、自然とのふれあいを通して、感性豊かな心を育てていきます。